

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年4月19日（水）10時00分～11時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
来住企画調査官、菅生主任安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官、石井主任監視指導官、正路管理官補佐
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他11名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 クリプトン回収技術開発施設空気圧縮機自動切換え機能追加について
資料2 焼却施設における空気圧縮機の更新について

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	原子力規制庁のオオシマでございます。それでは、本日の面談の方を始めさせていただきたいと思います。早速ではございますが、本日、お送りいただきました資料に基づきまして、順にご説明をいただければというふうに思います。
0:00:20	まずはですね、クリプトン回収技術開発施設空気圧縮機自動切換機能の追加について、原子力機構の方からご説明の方をお願いいたします。
0:00:36	技術課長の打田と申します。よろしく申し上げます。それでは質疑ということで、クリプトン施設の空気、
0:00:46	うわ、資料ということで、クリップの施設の区域圧縮機自動切換機能の追加についてご説明させていただきます。はじめにでございますけれども、クリプトン施設は分離精製工場で発生した
0:00:58	せん断フラスト溶解クラスに含まれるクリプトンガスこれを分離回収し、貯蔵するための技術開発を行う施設でございます。
0:01:06	ちょっと5ページ目ご覧ください。
0:01:09	お互いとしてプリプロジェクトと全体概要図でまず全体の話を説明させてあげたいと思います。
0:01:17	こちら僕がK R O T O Sの今回ご説明差し上げたいと思います。こちらの図が雑フローで、今回の自動電話価格のマークで示している部分。
0:01:27	部分がございます、東京支店の液体窒素等空気圧縮機のところでございます。ですがちょっと全体の工程概要回収工程のプロセスについて説明しますと、オフガス分離精製工場からのオフガスは、氏名の左側、
0:01:40	赤矢印の方向から入ってくるというところでございます。
0:01:44	部位精製工場から包括を受け入れまして、初めにその上のヨウ素吸着機で、
0:01:50	ヨウ素を予定します。次に、な赤矢印に沿ってガスが流れていきまして、上側から水素ガスを添加していくと、次の反応機で、
0:02:02	触媒を用いまして、酸素、窒素酸化物等を提供します。
0:02:06	次に、水吸着機炭酸ガス住宅期以前を吸着機これらがありましてこれらを通していきまして、順々に水炭酸基線を除去します。
0:02:18	次のところに、主清流等というところのクリプトン清流等ということ、部分がございますが、こちらの方には、左上の液体窒素所、貯蔵設備の方から紫の液体窒素と、
0:02:32	青色の窒素ガスを使うというプロセスになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	戸村そ技術の液体窒素を清流等の上側に協力供給しまして、クリプトンの方から、
0:02:48	次の方の下側の矢印になってございますけども、青矢印の窒素ガスを供給しまして、
0:02:59	下側の方で、クリプトンガス状のクリプトンに戻すと、ガス状に戻したクリプトンをクリプトン貯蔵シリンダの方に貯蔵すると、このようなプロセスになってございます。
0:03:10	そもそもこのクリプトンの回収運転でございまして、こちらの方は平成13年に終了してございます。
0:03:16	その後は、回収した放射性くり本ガスの一部を貯蔵してきましたが、今後使わないという状況にございまして廃止措置計画に基づいて、昨年、令和4年の2月から4月にかけて、
0:03:28	とか、放出をしております。放出については、シリンダへと紙面の右側にございますけど、シリンダーから下側の系統から黒い矢印で示してありますが、
0:03:40	この抵当から、除染ガス貯槽のほうに送りまして、さらに青矢印で示してございますけど、窒素ガス、こちらを用いて希釈し、そして放出したという状況でございまして。
0:03:52	このように、クリプトン施設の下の回収運転と管理放出ということが終了してございますので、今後、窒素を供給する液体窒素貯槽設備、
0:04:03	あと左上に書いてございますけど、この液体窒素設備については使う必要がないという状況が生じていると。
0:04:10	またそもそも液体窒素設備は津波漂流物対策として、撤去し、するということでございまして、こちら、バックアップ機能ということで
0:04:20	右側の空気圧縮機の方にバックアップ機能も有してございますけども、これの代替として、そもそもとして窒素、液体窒素がなくとも、空気式設備に自動切り換え機能を追加したいと、そのようなことを考えているというところでございまして。
0:04:39	本文に戻りまして、
0:04:42	2ポツの工事の目的及び設備の概要でございまして。
0:04:46	さっき紹介した通り、改修運転と管理放送は終了しているという状況で今後窒素は使用する必要はないと。
0:04:53	他方、液体窒素設備は、圧縮空気の代替として、空気圧縮機が故障により停止した場合に、窒素ガスを自動で供給していると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:03	また、江藤駅液体窒素貯蔵についてはそもそも、撤去していく必要があるということで令和5年度中に撤去する計画でございます。
0:05:12	一方で、圧縮空気は換気系と計測制御系統とか、あとユーティリティ系、こういったもので使っているのが今後使っていくと、一部機能を使っていくという状況です。
0:05:23	ですので液体基礎設備の撤去によりまして、同様の空気圧縮機が停止した場合には、基本的に切り換え機能というのがございませんので、手動操作で予備機を起動することになりますけど、
0:05:35	この操作に一定の時間がかかるということで、開く。
0:05:39	バックイン塗装内の圧縮空気が空になると。
0:05:43	いう状況が生じるので負圧指示調節計を手動で操作し、ということ排気のバランスを調整する必要がありますので、今回示しております通り自動切り換え機能を追加することで、予備機への瞬時の切り換えができて、
0:05:59	空気圧縮機、開く貯槽内の圧縮空気が保持され、
0:06:04	自走調整操作が不要となりまた、換気系統とか、計測制御系統の機能が継続して維持されるようになります。このような理由から、空気圧縮機に自動切り換え機能を追加して継続して、
0:06:16	安定的に圧縮空気を供給可能な、
0:06:19	状態としたいと、このように我々考えているというところでございます。
0:06:26	めぐりまして、
0:06:32	えっとクリプトン施設の隆起室が
0:06:36	圧縮機の冷却水系の手動弁アック供給系の手動弁が設置されてございますけども現状いずれも失敗していると。
0:06:43	ということです。当該室に自動切替制御盤を設置して、空気圧縮機に関連する冷却水系アップ供給系の手動弁を移動で仁木参考するということでございます。
0:06:54	別、ちょっとね
0:07:00	絵と6ページの図2の方をご覧ください。
0:07:08	こちらが液体窒素設備等空気圧縮機を整理した図でございます。右側の方ににゅ右側の入居室に圧縮機が上下に、台形を横にしたような形のものでございますけど、これが2台ございまして常時1台運転していると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:25	で、施設内の各供給先の方に供給してるという状況です。運転機が停止した場合は、図の左にある液体窒素貯槽から青色の系統を通して、
0:07:37	窒素ガスが自動で供給されるという、そういう仕組みになってございます。
0:07:42	で、予備機については、手動操作で起動していくと、ちょっとこのようなケースを担っております。ですので、その繰り返しになりますけど自動切り換え、その圧縮機、常用型の圧縮機、
0:07:56	それを使った場合には、予備機の方に、議場切り換えで立ち上がるようにし、機能をつけたいというふうに考えてございます。
0:08:08	今回の工事では、空気圧縮機 2 台とも停止した上で、講義を行います。
0:08:13	で、工事期間中は液体窒素設備から、窒素常時供給し、
0:08:18	するということを考えてございます。やっぱ、窒素のさらにバックアップとして、窒素バックアップがなくなった場合には可搬型のコンプレッサーを準備するというので、
0:08:28	ちょっとまた飛んでしまうと後、すいません、6 ページの愛知等、
0:08:34	図 2 のところでございますけど、左側の液体基礎設備の本窒素貯槽、
0:08:42	でございますけどこちらの方に可搬型コンプレッサーを別途準備しておいて、工事期間中に液体窒素ガス抜ん窒素ガスのバックアップがなくなった場合には、こちらの可搬型コンプレッサー、
0:08:56	から、江藤窪供給すると、このようなことを考えております。
0:09:04	本文に戻りまして、ケンカジョウ 5 ポツの許認可上の記載についてでございます。
0:09:10	両括弧 1 事業指定申請書ですけど、こちらの方には機器の仕様として、空気圧縮機の基数容量圧力の方が記載されてございます。
0:09:19	施工に申請書の方も、空気圧縮機の基数、材質附属品耐震分類、このような記載があると。
0:09:27	また図のほうに空気圧縮機の方が記載されてございます。
0:09:30	また、CFD に信号系統が記載されているという状況です。
0:09:34	廃止措置計画ですけども、空気圧縮機設備の空気圧縮機の方は性能維持施設として点検項目要求される機能維持すべき期間が記載されていると。
0:09:45	今回自動切換機能を追加したとしても、点検項目や要求される機能こちらの方には、衛藤、
0:09:52	変更はないという状況でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:55	6 ポツですが、廃止措置計画の変更認可申請ということで、空気圧縮機は廃止措置計画において性能維持施設に該当しておりまして、自動切換機能の追加にあたっては継続す C F D
0:10:07	えっと、計測制御系統の変更を伴うこと。
0:10:10	これは、設計及び工事の計画について廃止措置計画の変更申請を行い自動切換機能の追加工事を進めたいと考えてございます。
0:10:19	なお、なお書きではございますけど、圧縮空気の供給関係したとしても施設内の負圧が維持され閉じ込め機能には影響がないということです。
0:10:30	あとちょっと、7 ページ。
0:10:34	ただですね、7 ページの図 3 の 3 分の 1 から閉塞系系統図ということで、今回ちょっと追加する。
0:10:43	部分変更する部分を赤くマークの方で示しております。
0:10:48	図 3-1 が、K7 という、圧縮 D2 の
0:10:56	改造する範囲を示しております。三分の 2 の方が、土岐救急という圧縮機の項の系統図。
0:11:04	あと図 3 分の 3 の方が、冷却水系、こちらの方の C F D の変更箇所、こういったことを表してございます。
0:11:14	別添 1 の方についてございますけどこちらの方が事業指定とか設工認の記載状況、こういったものを整理しているという状況でございます。
0:11:22	ご説明の方は以上でございます。
0:11:27	もちろん規制庁のオオシマです。規制庁の方から何か質問等ございましたらお願いいたします。
0:11:41	規制庁植野ですねこのクリプトン施設は、
0:11:45	もうクリプトンを保有してなくて、
0:11:50	そのあとも廃止するだけの施設ということでよろしいですか。
0:11:58	現状も、ガス状のクリプトンは貯蔵してない状況です。
0:12:02	あと答え、クリプトン固化体の方を貯蔵しているという状況です。
0:12:08	ですので今後廃止措置を進めていくという施設でございます。
0:12:13	はい。寸ちゃうぐらいですそれで
0:12:19	自動自動切り換えを、
0:12:23	追加設置する必要性っていうのがちょっと、
0:12:28	少し見えてこないかなと思ったんですが、これってのはもう、
0:12:33	H O W とか T V F とは違って、安全対策食うではそれほどの、
0:12:40	C クラスだっていう記載もあって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:44	何ら、何か追加の対策をしているものではないので、地震津波に対しては、
0:12:54	何か金機能を維持する。
0:12:58	維持してる施設ではないという理解なんですけど、それでよろしいでしょうか。
0:13:04	はい。基本的にはそのご認識でございまして、ガス状のものがなかったりするので、施設、
0:13:13	もう
0:13:15	何て言うんでしょうか。
0:13:17	安全性にも影響なく、関係ないと。そもそも、現状ですね、空気圧縮機自体が性能維持施設になってございますけどこれは、運転時、
0:13:27	もうフルで運転してる時の状況を引きずってるということで今後、性能維持施設が見直しされれば、この状況も変わるものと思っております。
0:13:38	すいません。忘れてましたっけ。前処理施設課の市田です。
0:13:43	はい上野です。そうするとその廃止措置なんだから、
0:13:49	アamana何かその自動切り換えが必要だっていうところがやっぱり、
0:13:55	廃止するものに何か新たに設備を機能加えるっていうのは、何か別な理由があるんですかね。
0:14:06	前処理施設課の打田です。現状換気系統が生きてるということで、
0:14:13	あとこの圧縮空気を使って、換気系統これは建屋及びセル調節系のダンパー、そちらの方を動かしていると、いうことと、計測系制御系統の負圧指示調節系。
0:14:25	こちらの方で指示か干渉してると。
0:14:28	いうこととあとはユーティリティ系のアクサ答弁こちら動かしてるという状況があるので、こちらの方へと機能させるために、自動切換を付加して、連続的に、
0:14:39	これらの機能を生かしたいと、このように考えている状況です。
0:14:44	はい、植田です
0:14:46	図の5ページで示されてる右上のところに
0:14:52	窒素ガスバックアップってのがあるんですけど、
0:14:55	このバックアップというのは、
0:14:58	自主設置なのかっていう気がしたんですが、いかがですかそこは。
0:15:13	あとこちらの設備施設ですけど、建設当初は空気圧縮機1台と、窒素バックアップから恒設されるようなシステムになってました。途中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:26	空気圧縮機の方を増設して、予備機を設けたと。ちょっとそのような、きちんと設工認申請した上で、そのような対応をしているという状況です。
0:15:39	そうすると、千紗さん、空気圧縮機 2 台と、
0:15:45	窒素バックアップの 3 系統が要求されてるってということなんですかね。
0:16:08	施設管理部の仲村です。先ほどお話ししましたがもともとクリープ施設を作った時に、この空気圧縮機 1 台と、あと内側窒素からのバックアップ機能、この二つで行ってました。そのあと、
0:16:24	保守点検を連続的に、窒素バックアップじゃなく、圧縮機でやりましょうということで、もう一度圧縮機を追加しております。で、
0:16:33	今回もともと、もともと 1 台でして、追加したときに、その経緯を、からのバックアップがありましたので自動切り換えってのはそこまで必要性はなかったんですけども、今後、この液体窒素調査を津波対策として撤去するときに、その機能を
0:16:49	自動切り換えということで追加して、連続して圧縮空気が送れるようにするということを考えてございます。先ほどお話ししたように、
0:16:59	まずざっくりと
0:17:03	包括というものはもう固定化したものしかありませんけども、管理区域を解除するまでの層理が建屋関係の維持したいと考えておりますので、それらのダンパ調整とか、或いは福士事件にまだ空気圧縮機、
0:17:16	空のバックを使っておりますので、これを安定供給するために、自動機能自動切り換え機能を追加したいと考えております。
0:17:27	規制庁出野です。
0:17:30	例えば今回、改造工事中には、
0:17:39	6 ページの絵にあるように、
0:17:43	貯槽に可搬型コンプレッサーを追加するという対策をされてるんですけど、
0:17:50	例えばこれを性能維持施設として登録するという、そういうやり方もあるんですが、そうするとその空気圧縮機にないと、バックアップのコンプレッサーということで、3 系統あることには変わらないと思うんですが、
0:18:07	そうではなくて、その自動切替でやるんだという、
0:18:14	ところであると。
0:18:18	どう同等だよっていうことは示して欲しいと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:33	施設管理部の仲村です。現状としては空気圧縮機2台ありまして、それ以前に、から使って田嶋実のバックアップもあったんですけども、
0:18:44	実際、必要とするのはその空気圧時の機能であって、その方はあくまでバックアップとして弔辞を使うものではなく、そういった
0:18:55	車両代が止まった時の保守点検ということで考えてございますんで、これを客席の蒸気力会を使うことによって、1台、
0:19:06	洋上に使って1台良いということで、起動できるというふうに考えてございます。またさ、さらにそのバックアップというのは必要ないかと思っております。
0:19:30	規制庁のオオシマです。同じところろうでちょっと確認なんですけれども、衛藤。
0:19:39	バックアップをこれまで用意されていたということなんですけれども、やはり種主導での切り換えではかなり時間がかかってしまって、そういったことも踏まえて、窒素ガスでバックアップを、
0:19:53	されていたという認識でますがよろしいでしょうか。
0:20:00	もしないような手動で切り換えですと、圧縮空気がなくなってしまうので、必要で必要であった設備という認識でまたよろしいかどうか確認したいんですけども、勝手にやるのはいいんだけど季節をいじると、
0:20:28	はい、施設管理部の仲村です。衛藤先ほどお話の設計の経緯でもございますけれども、現状の利用としてはその自動から手動で切り換える間の、
0:20:42	圧縮空気の代わりに窒素を供給するというそういう、シューマー連続的に空気を変え、供給するという機能に使用して参りました。
0:20:58	要は、そうしないと、圧縮空気がなくなってしまうので必要な設備だったという理解でよろしいでしょうか。
0:21:07	はい。従来必要な設備であったと考えております。
0:21:18	面白い。そうしますと、この窒素ガスのラインも、性能維持施設というような、自主的な設備ではなくて、性能維持施設というような扱いのもの。
0:21:31	そう考えてことでよろしいですか。
0:21:42	施設管理部の仲村です。衛藤清野SSの方は現状の空気圧縮機の2台をもう回答してるんですね。途中で変えてございますけども、
0:21:54	村尾直井で書いてございますけども空気圧縮機の供給がなくても、閉じ込め機能等には影響ございませんので、我々としては連続監視することが、運転管理上必要でございますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:07	性能としては、それが、
0:22:10	一緒にしても、また駄目かという、そうではなくて閉じ込め、P Cの観点からいうと、そこまで必要ないと考えております。
0:22:22	わかりました。自動切替についてはあくまで自主的な設備だということで理解をいたしました。
0:22:53	それからすみません、参考に教え、規制庁の押田ですけれども参考に教えていただきたいんですが、今後このクリプトン箇所というのは、工程洗浄等々、廃止措置の中で発生
0:23:07	されるようなことはないという理解でよろしいですか。はい。
0:23:14	スリッドん放射性グループガス、かつてのものはもうすでに行っておりまして完全にゼロかというそれはちょっとあとだかんとか残ってることはあるかと思えますけども、これまでの運転のような法律はないと考えています。ただし、
0:23:29	先ほどお話ししましたクリプトンの硬化体、これまでの放射能濃度誘導、と思っていた会社よりは、十分低いんですけどもそういったものがございいますので、今後、
0:23:39	その固化体に入っているクリプトンをどうするかについては検討させていただくということになりますので、それが、こうすることはゼロかというそうではないと。ただ、現状では、
0:23:50	小谷府通じられておりましてそれが新しい出ることはございません。
0:24:03	はい、わかりましたそうするとその固化体の中に入っているもの以外については、もう、
0:24:10	今後の発生も考えなくていいと、そう理解いたしましたかよろしいでしょうか。
0:24:19	はい。その通りです。
0:24:21	はい、わかりましたありがとうございます。
0:24:46	すみません。引き続き、
0:24:49	どうぞ。はい。
0:24:53	加来神原。
0:24:56	すみません、各館から一つ、これとこれって、もし工事やるとすれば工事期間どのくらいになるんですかね。
0:25:07	この間、藤谷沼倉です。工事期間、実際の配管とかあるバルブあと盤関係はショップの方で作って参ります。現地の工事があるってですね2、3週間を考えてございます。
0:25:23	はい、ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	すいません規制庁のオオシマです。先ほどの工事期間のところちょっと追加でお聞きしたいんですけども、工事期間中は液体窒素の方から常時窒素注入、
0:25:57	許されるということですけども、工事期間に資産週間を予定しているということで、そのバックアップの誘導ってどの程度あるのか、あと、コンプレッサーを使う必要が出てくるのかどうかというところ。
0:26:13	お聞きしたいんですけども。
0:26:23	C S 管理部の仲村です。江藤関田窒素貯槽ですけどもこれ使うたびに
0:26:30	5月のタンクローリーを入れて供給しながらやります。一旦満杯の状態に4月になるまで新築がございますので、最終回ですんで、
0:26:41	今回の途中でタンクローリーで記者さんが持ってきてくれれば全然余裕がございます。その都度、足りなくなれば入れるというものです。ただはし空気の念のためのバックアップ。
0:26:54	につきましては、今回、入れてる業者さんですねそれが途絶えることはないと考えてございますので、使用することはないと考えております。
0:27:06	はい、わかりました。
0:27:08	以降は、
0:27:11	ちなみに可搬型のコンプレッサを、というのは、何万台もし、仮に使う場合は何台使用して、使用するような予定なんですかね。
0:27:24	それで全部足りるのかどうかという確認なんですけれども。
0:27:30	です管理部の仲村です。衛藤先ほど冒頭お話ししましたようにクリプトンの開通は、開発施設ではもうすでに固定等となっております。使っているのが、
0:27:40	工程内のバッグ佐藤便とかあとダンパ指数は、もうすでにこちらの計測器だけですので、はい。江藤。
0:27:50	冬季圧縮機1台で、衛藤。
0:27:52	一体で、
0:27:58	わかりましたありがとうございます。
0:28:00	うん。
0:28:15	結局、
0:28:16	規制庁ウエノです空気圧縮機の切り換えについて教えて欲しいんですけど、この手動で切り替える場合と、
0:28:28	自動で切り替える場合っていうのは、何が違ってこの手動指導だと一定時間かかるっていうところと、自動だと、瞬時に切り替わるというところなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:41	これ、
0:28:41	これまでの運転でも
0:28:46	は、
0:28:47	空気圧縮機を切り換えて運転するっていうことはやられてたかと思うんですが、
0:28:53	その辺はちょっと教えてもらえますか。
0:29:01	マンション施設課の内田です。現状指導切り換えで切り替えることとなりますけど、あと第大体切替っていうのは運転機、
0:29:13	予備機がある中で、ちょっと予備機を、うん。起動させて、その後、運転機を止めると、切り換え手順になりますけど、大体1時間程度、
0:29:24	はかるという状況です。
0:29:26	今回自動切り換え機能を追加しますのでこれ審議に切り替わって、速やかに立ち上がるという状況に変わるというところでございます。
0:29:36	いや、違う。
0:29:38	このウエノですけど、自動切換においても、その停止してる号機を立ち上げてっていうところは、
0:29:46	必要なんじゃないかなと思ってるんですが、そこにはある程度の時間がかかるのかなと思うんですけど、それでと比べた場合で、その自動と手動
0:29:58	でそんなに変わってくるものなのかなとちょっとよくわからなかったんですが、説明してください。
0:30:08	方針
0:30:09	今回自動切り換えは、運転期間、その故障の信号をとらえて予備機を立ち上げると。
0:30:20	ちょっとその、そのような操作になり、操作というか、機能になります。
0:30:25	故障の信号を検知したら速やかにその信号だけのやりとりになりますんで、予備機の方が主、主に電源がある。
0:30:35	その状況になります。期間かかる理由を、
0:30:40	及び自動で上がると思うんですが、
0:30:43	何かそうみたいですね。それから、あともう、もう1点申し上げさせていただくと、手動操作での立ち上げですけど、
0:30:54	6ページに図がございますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:57	ちょっと自動切り換えてる導入にあたってバルブの方に元にしますけど、現状、バルブ、圧縮機周りのバルブ、冷却水系もそうですし、
0:31:09	式の吐出側、こういったバルブがすべて指導バルブになっているので、その操作を行って立ち上げ操作を行うと手動では1時間程度かかると。
0:31:21	それが、自動切換機能を追加することによって、0分等が自動化されますので、あとそういった意味で
0:31:29	自動切り換え機能が追加されれば、予備機、自動、鳥栖瞬時に立ち上がっていくと、そのような状況になるということです。
0:31:44	社長ウエノでその自動切り換えと言われてるのは、運転号機が、
0:31:51	容器不能、予測不能な、
0:31:55	故障した場合でも自動切り換えするっていうこと。
0:32:00	なんですか、それとも、これから切り替えるよって言って、
0:32:05	その切り換え操作を、
0:32:08	自動でやるっていうことなのかちょっとそこがわかんなかったんですが、
0:32:17	ちょっと字自動切りた機能はその故障した際に、使う分もないんです。
0:32:25	故障、故障っていうのは、コスト線、
0:32:29	を使うのに駄目だし、
0:32:32	ウエノですけど、その故障はいつ起こるかわからないので、
0:32:37	予備機側を立ち上げるには、ある程度の時間はどうしても必要なと思うんですが、
0:32:45	ちょっとその辺もう少し詳しく説明してもらえたらと思います。
0:33:18	すみません、原子力機構の鹿野です。ちょっと補足させていただきます。手動操作の場合は現場に人が常時張り付いているわけではございませんので、人がその駆けつける時間、それから各現場のいろんなエリアに分散してる各バルブを操作する時間、
0:33:38	それからそれを含めて予備機を立ち上げる時間それを合わせると1時間程度かかるという状況でございます。で、式そのものが起動するにはさほど時間かかりませんので、自動切換の場合には、
0:33:54	浮石が故障も含めて、運転してる圧縮機が止まった場合には開く貯層の圧が下がってきますので、それを検知して直ちに立ち上げるということで、
0:34:06	連続的にアークを確保することが可能になるという関係でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:33	ですか。規制庁のオオシマです。同じところで、ついちょっと確認なんですけれども、
0:34:39	今のその廃止措置段階での圧縮空気の必要量、に対して、手動切替ですと、少しちょっともたないと。
0:34:51	一方でこの自動切り換えですと、タンクが空になる前に間に合いますということなんですけど、それぞれの
0:34:58	時間的なデータでございますか、もしこうすると、赤になる前に持つとか、
0:35:08	先ほど、首藤ですと1時間かかってしまうというような、それだともたないと、というような何かそういった評価ってこうされてるんでしょうか。
0:35:31	祭施設課の時代ですちょっと手元に紙数字、ちょっと記載はしてはいますが、ちょっと手元に資料がございませんので、ちょっと別途説明させて、
0:35:42	資料ございますので、ちょっと別途、
0:35:49	わかりましたありがとうございますよろしくお願ひいたします。
0:36:02	他に規制庁の方から何か追加で確認したいこと等ありませんでしょうか。
0:36:15	にしてもらっている。
0:40:00	規制庁植野です。ちょっとすみません時間こちらで話してました。
0:40:06	その屋外のタンクを撤去するってところの必要性は理解してはいますと。で、今回クリプトン施設の、
0:40:17	空気圧縮機を、
0:40:19	自動カーしないといけないってところは少しやっぱりあまり理由として、もう廃措置だし、放射性クリプトンの基地対の上のものはないという状況で、
0:40:32	今後も撤去していただくだけの施設の中で、空気圧縮機の自動化の切り換えを自動化しないといけないというところが少し必要性がちょっと見えてこなかったもので、そこは少し改めて
0:40:45	先ほどあった要領の関係なのか、切り換えにかかる時間の関係なのかというところの辺もちょっと情報を付加してもらって、また改めて説明していただければと思います。
0:40:57	はい。安全の担保の関係ですね。そうですね外間阿藤、その資料の中で説明してあったのは止まっても、安全性に影響ないってところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:08	謳われてるので、すその観点からもその自動化の必要性がどの程度のものなのかってのはちょっと見えてこなかったの、改めて説明いただければと思います。
0:41:25	前処理施設課の打田です。ちょっとその点を踏まえて整理して、改めて説明させていただきます。
0:41:31	よろしくお願いします。
0:41:32	お願いします。
0:41:35	規制庁の尾島です。それではですね、続いての論点焼却施設における空気圧縮機の更新について、ご説明の方をお願いいたします。
0:41:50	はい原子力機構の大村と申しますよろしくお願いします。
0:41:54	一番、
0:41:56	本ページで右下 12 ページから資料になります。焼却施設における球形圧縮の方針についてということで、まずはじめについてという。はじめにということで更新の背景でございますが、
0:42:10	現在、焼却施設に設置されてる追加し議題ございまして、
0:42:20	こちらにつきましては設置後 30 年以上が経過したということで、製造メーカーでの部品が製造、製造が中止されているような現状でございます。
0:42:32	そのためですねこれまで行ってきた定期的な部品交換とかですね、エコ掃除の
0:42:37	部品調達等が困難な状態になったということで今回、空気屋敷の更新を経験、計画しているといったことでございます。
0:42:47	更新にあたってはですね既設と同等の能力を有したものに更新するということで今のところ計画しているところでございます。
0:42:56	2 ポツの設備概要でございますが、
0:43:01	右下 14 ページに開いていただきまして、
0:43:05	こちらに焼却施設のアック設備の系統ということで示させていただいております。
0:43:11	左側の方に行き圧縮ということで庭の 81 k - 812 台でございます。
0:43:19	左側の方のライン系統につきましては
0:43:23	旧形式で整理され、空気を冷やすために、冷水設備、
0:43:29	冷水系統が設置されております。
0:43:32	右側のライン系統につきましては足空気の供給系統を示しております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:38	供給するために中ほどに圧縮空気層が二つ、2基設置されておりましてその真ん中には除湿機が設置されております。
0:43:49	圧縮空気の供給系統ですけども、まず、圧縮空気貯槽三、四にV-82という、
0:43:58	除草を経由いたしまして上の方の線になります系統になりますはこちらにつきましては、
0:44:04	各施設の焼却炉へ設置する機器のページをとか、あとフィルターの逆洗用ですねこういったものに上級してる系統になります。
0:44:14	一方ですね女子圧縮空気を除湿した空気につきましては、
0:44:20	三、四人V-84右の空気層になります、こちらを経由して
0:44:27	施設内の計装設備用として使用しているものでございます。右下の方にですね足、ユーティリティ施設というふうに書いてございますが、
0:44:39	こちらの施設につきましては再処理施設内にユーティリティ施設という施設がございます。そちらの方からバックアップとして
0:44:47	募集時の予備的措置としてバックアップとして供給ができるような、こういったような設計になってございます。
0:44:56	本文戻っていただきまして12ページになります、
0:45:04	焼却施設につきましては、低放射性の可燃性の廃棄物、こちらを焼却処理して現有するための施設でございます。
0:45:14	そちら焼却施設のですね焼却炉とかあと負圧処理系設備からで構成されているといったような施設でございます。
0:45:24	次に3ポツになりますけど今回更新する空気屋敷の使用等でございますけども、
0:45:31	まず、既設につきましてはその容量が約115、ノルマルノルマル立米ということですが今回新しく新規に設置する圧縮については、
0:45:43	約132ノルマル立米と若干、溶炉としては大きな、大きくなっているといたことでございます。
0:45:51	資材量につきましては、同じ施設400ということで丹酒匂でございます。
0:45:56	耐震区分につきましても既設B類ですが今回更新するやつもB類で設計を考えてございます。
0:46:04	4ポツ、機能損失の影響等ということで、
0:46:09	まず、更新工事にあたっては焼却施設の運転停止中に実施することを考えてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:16	また更新にあたっては2台ありますので、停止中の予備機の方から更新を実施しまして、
0:46:23	当然その後検査を行って問題がないことを確認を、
0:46:27	田子のもう一方の空気や湿気の更新を実施すると。
0:46:31	そういったことで考えております。
0:46:34	また更新期間中にですね、運転中の空気や疾患に異常が確認された場合、
0:46:41	またはですね更新工事で一時的に空気足協議会提出する必要がある場合は、
0:46:47	先ほどご説明しました通りユーティリティ施設から、
0:46:51	ドアツー傾聴に良い機種
0:46:55	切り替えることで圧縮空気の供給を維持することができるということで工程への影響はないというふうに考えてございます。
0:47:05	A棟ユーティリティ施設からの圧縮空気の供給についてでございますが、こちらにつきましては既存の許認可の方で認可されているということで
0:47:17	ビリティ施設には空気や資金が4台設置されてございます。2台常用村井予備ということで、2台常用で能力といたしましては約
0:47:29	5000ノルマル立米パーアワーということで供給ができるということで、現状ですねユーティリティ施設からの供給施設としては13施設に、
0:47:39	供給しております。その層厚供給量といたしましては約4200ノルマル立米パーアワーということと、焼却施設のようにですね、
0:47:49	バックアップ用として使用しているのが3施設ございまして、そちらの供給量が約550\$ぼノルマル立米パーアワーということで、
0:47:59	トータル、4750ノルマル立米パーアワーの供給、
0:48:04	ということですよ。それに対しまして先ほど大瀬ご説明いたしました通り、
0:48:10	UT施設は約5000ノルマル立米。
0:48:14	パーアワーの供給が可能ということで、十分供給能力としては満足していると。
0:48:20	いったことです。
0:48:21	DC、またですねユーティリティする空気圧縮機、
0:48:25	運転中の空気圧縮機が故障した場合でも自動的に予備機が起動することで、圧縮空気の供給を維持することができます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:33	いったことです。
0:48:36	続きまして5ポツになりますけれども、
0:48:40	許認可上の記載についてということで、両括弧1事業指定申請書同 (2) 施行に申請書でございますがこちらについては、
0:48:50	差し引きの能力とか系統図が記載されておまして、
0:48:55	14ページ。
0:48:57	いう。
0:48:58	通し番号15ページ以降に参考までに、
0:49:01	既存許認可の、
0:49:03	抜粋を添付させていただいております。
0:49:07	両括弧3になりますけれども使用前検査定期事業者検査ということで、現状の検査の状況ですが、使用前検査は受検しておりません。
0:49:17	ただし、定期事業者検査として、年1回です。
0:49:21	真空機設備の性能検査として、
0:49:24	供給圧力の確認を行っているのが現状でございます。
0:49:28	6発して今回の廃止措置計画の変更認可申請についてということで、本案資金につきましては、
0:49:36	性能維持施設に該当しているということで、今回、
0:49:40	開催計画の変更認可申請を、
0:49:44	行って講師を、
0:49:47	更新工事を進めていきたいと考えているといったところでございます。
0:49:51	耐震分類区分につきましては先ほどご説明いたします通り、
0:49:56	B類で申請したいと、いうふうに考えております。
0:50:00	以上になります。
0:50:05	はい、ありがとうございました。規制庁のオオシマでそうしましたら規制庁側から質問コメント等ありましたらお願いいたします。
0:53:56	規制庁豊田です。ちょっとすいませんこちらで話しました。現状の今回は別に今回とは別なんですけど、現状の更新にあたって、
0:54:08	廃措置計画の変更の要否なんですけど、どう、同様のスペックに変えるときも、一旦は廃止措置計画の変更をすると、それ以降については、
0:54:20	J AのQMSの中で対応していると。
0:54:24	拳図を大きく言うともそういう対応という理解でよろしいでしょうか。
0:54:31	ちょっとやっぱナカノたっけ。原子力機構ナカノです。衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:38	昨年来からいろいろちょっと議論させていただいてる課題ではあるんですが、現状の運用では、この手のその機器を丸ごと交換するようなケースでは、設計工事のいただいた上で、
0:54:53	膿をしております。ただし、今、一体やったらというようなご指摘ありましたが
0:54:59	申請をする際にですね、同じような繰り返しの交換も含めて、認可をいただいているケースがいくつか直近の例ではあって、その認可をいただいている場合は同じものを交換するときは、
0:55:12	認可をいただかずに、というか一度いただいた認可の範囲の中で、続けているという状況はございます。あとはその保安規定の範囲の保守でやらせていただいている場合はちょっとそれは部品交換にとどまっています、
0:55:28	こういった機器を丸ごとを構成するようなケースでは、
0:55:33	後はまとめて、数回または各個別ごとにはありますが、基本的には認可をいただいてやってるのが、現状です。ちょっとそれを、の合理化に向けた議論というのは継続させていただいている状況ですので、まだ今までの運用としてはそういう状況。
0:55:51	以上です。はい。
0:55:54	鷹野さんクルスミですご説明ありがとうございます。今合理化に向けたケアの議論というお話をいただいたところなんですけれども、
0:56:03	同じスペックのものを繰り返し交換する場合は、繰り返し交換することも、要は、認可事項に含めてるっていうのが現状の運用というそういう理解でよろしいですか。
0:56:18	はいその通りでございます。じゃ、そういうことが本文に明確に書かれてるってことなんですね。
0:56:25	その通りです。なるほどなるほど。仲野さんがおっしゃってるその合理化に向けた議論っていうのはその家等繰り返しっていうのをその本文に認可事項として書くってこととは別の話なんでしょうか。
0:56:38	その運用が、原子力だからですその運用のやり方も含めてなんですが、やはりその同じものを繰り返し交換するものをその都度認可というのは、
0:56:48	あまりにも合理的ではないという、
0:56:55	ことだと思っておりますので、あとはその衛藤同じようなものというのの範囲ですとかそれをどこまで
0:57:03	オオブは例えば能力は上回るけど型は違うんですとかあとは能力同じなんだけどちょっと型式というかタイプが変わってきたりとかいろんなケ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ースがありますので、そういったところを含めて手続きのやり方も含めて、
0:57:19	整理をさせていただいて継続的に議論をしていたというところでまだそれは、結論には至ってないというのが現状でございます。常に、
0:57:29	冬、
0:57:31	本城適用してるのは全く同じものをずっと繰り返し変えるようなところについてはすでにその衛藤はい措置計画の個別の先生の中で
0:57:42	文章を書かせていただいた上で適用しているというところは、幾つかは全体的な整理はまだ途上という状況でございます。
0:57:50	ご説明ありがとうございますクルスミです現状そういう状況になっているということで承知いたしました。
0:58:00	等に関する情報交換については、
0:59:34	規制庁の方からご質問等ございませんでしょうか。
0:59:42	らしいですか。はい。
0:59:46	そうしましたらそのたということで、原子力機構の方から追加、何かあればお願いいたします。
0:59:58	はい。技術部長の小林です。それでは最後に 13 ページの
1:00:04	今後のスケジュールについて説明させていただいてよろしいでしょうか。
1:00:09	お願いいたします。
1:00:13	はい。本日、神栗城ということでその他のところの設工認で今回、意見させていただいております。それで
1:00:25	次週、26 日希望しております
1:00:29	一つは今後の廃止措置計画の申請に関わる事項ということで性能維持施設の見直しの議論、こちら、考え方から始めさせていただきたい、考え方の説明から始めさせていただきたいと思っております。またその他のところにあります
1:00:49	その他の施設の火災防護のウォークダウン。
1:00:51	こちらの元に 6 段を完了した際に速報という形でご報告してございますが全体取りまとめた上で、
1:01:02	結果を改めて説明させていただきたいと考えてございます。そその他としましては廃止措置の現状ということでガラス固化処理及び工程洗浄の状況をこちらの方も進捗の方報告させていただきたいと思っております。
1:01:20	原子力機構からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:37	クルスミでございます有賀、今日ご説明いただきましてありがとうございますございました。ちょっと私からのお願いなんですけれども、実はですねちょっとタグ担当してる業務が非常に多岐にわたってましてですね、
1:03:51	実はですねちょっと国会とかもやんなきゃいけないってこともあって、リッカー水がですねいろいろちょっと会議がすでには予定が入っております、
1:04:01	なかなかちょっと都合がつきづらい状況がございます。で、このスケジュールを拝見してる限り、なお水曜日を何か定例日みたいな形で予定を入れてらっしゃるのかなとお見受けしてるんですけれども、
1:04:13	もしできれば、その水曜日っていうのを、木曜日とかに変更していただくことをご検討いただけないかというお願いなんですけれども、ご検討いただけませんか。
1:04:25	西尾鬼頭ナカバヤシです。承知いたしました以前も両者の都合で決めてございますので木曜日が都合の良いという形であればこちらの木曜日の方で調整したいと思っております。
1:04:39	ありがとうございます。すいませんちょっとすっ飛ばしてしまったんですけれども、神野クリサキさんとあと石井さんと、ごめんなさい。10日間からご参加いただいております皆様いかがでしょうか五坪について。
1:04:51	ご意見ありましたらお願いします。
1:04:54	こちらとしても特に大きな問題はないです。木曜日であれば、大きな問題です。ありがとうございました栗崎さんからはOKサインを今ちょうだいしまして
1:05:05	すいません荘司さん、荘司さん失礼しました。衛藤さんからもいただきました。方からも特にご意見なしということでしたので、すいませんご検討様よろしくをお願いします。
1:05:20	規制庁のオオシマです。そうしましたら日程についてはまた担当を通して調整させていただきたいと存じます。
1:05:30	保証機構中林です了解いたしました。よろしくお願いたしますお願いいたします。そうしましたら最後に規制庁の方から何か追加でご質問コメントございませんでしょうか、保安規定の今、先月3月の会合で説明いただけてる
1:05:47	保安規定についてなんですけど、
1:05:52	ガラスばっちい線量計ですね個人線量計についてなんですけど、個人線量計について今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:02	外部から調達するっていうことのご説明はあったんですが、そういう外部からの水調達に変更することによって、これまでと同様の品質が確保されるんですけどっていうところの説明をですね。
1:06:16	もう一度改めてして欲しいなと思ってますので、数をお願いしたいと思ってますというのはちょっと今内部でですね、審査書を上げてってるんですが、ちょっとコメントがついてその部分についてはちゃんと確認しろということ等、
1:06:31	のコメントがついてますので、その対応をお願いしたいというものです。
1:06:44	品質保証課の沖本でございます。本規程関係の取りまとめをやってございます。品質確保につきましては前回の公開会合の資料の中で、ちょっと割愛させていただきましたけども外部委託先の力量ですとかそういった
1:06:58	設備関係の技術管理につきましてはマネジメント管理規則、保安規定に記載してありますマネジメント管理システムに基づいて、管理するつもりでございます。細かいご説明が必要でしたら、今、診療経過もありますので、説明いたしますが、どこまで、
1:07:14	エステーバイオ鎮目他のマネジメントに基づいて管理するというだけでよろしいのであれば、今の回答で終わりますけどどこまで、
1:07:20	もし、ご質問があれば、今、していただければ答えることは、
1:07:29	規制庁上田ですよろしくお願いします。それちょっとまた中身を聞いてからにということではあるんでしょうけど、ちょっと
1:07:39	先生にもですね、その要点を反映する必要があるのかなというふうに思ってますので、補正能も踏まえ、補正も含めてちょっと
1:07:51	検討いただければと思いますのですいませんがよろしくお願いします。
1:07:57	じゃあ、今の品質管理関係あってもいいかと思しますので、それ前回、次回の面談でちょっとその辺りを整理してご説明したいかと思します。それでよろしいでしょうか。はいよろしくお願いします。
1:08:10	そうです。よろしくお願いします。
1:08:15	荘司さんの挙手いただいてるなと思いますけど、よろしければご発言をお願いします。
1:08:20	ショオロ。
1:08:22	長さんすいません、とりあえずちょっとショオロの方から特に大丈夫だそうです。それですいませんちょっと加来菅野医師の方から一つ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:32	確認なんですけど、こないだあった、工程洗浄のはいきをちょっと違う。
1:08:42	流してしまったっていう点なんすけど、論点って、議会委員。
1:08:49	なんかねちょっとできるっていう理解でよろしいですか。
1:08:57	石井さんもう1回お願いします。
1:09:00	すみません。繊維こないだ工程洗浄の処理液を、違う予定していたば、流路と違う流に流してしまったっていう件が、
1:09:17	トラブルがあったかと思うんです。その件っていうあれで、すみません聞こえませんが。
1:09:26	遊佐公判が聞こえないので後半だけ繰り返してください。
1:09:31	わかりました。
1:09:34	工程洗浄の、はい。別流路へ流してしまったっていう件については、次回の打ち合わせで説明いただけるとの理解でよろしいですかね。
1:09:48	はいこちらTRP施設管理部の仲村です。衛藤。はい、承りました。もう次回ですとちょっと、
1:09:56	来週になるかと思いますがそのときにご説明、概要を説明したいと思っております。
1:10:03	よろしくお願いします。
1:10:09	はい。ありがとうございます。原子力機構の方から何か最後にございますでしょうか。
1:10:18	練習機構から特にございませぬ。はい。規制庁オオシマですありがとうございます。ありがとうございました。それではですね本日の面談以上にしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
1:10:29	ありがとうございました失礼します。
1:10:32	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。